



犯罪被害防止対策 ～住宅対象窃盗～

住宅対象窃盗の認知件数

※空き巣・忍込み・居空き

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
462件	547件	454件	678件	555件

【空き巣】

・家人などが不在の住宅の屋内に侵入し、金品を盗む手口をいいます。

【忍込み】

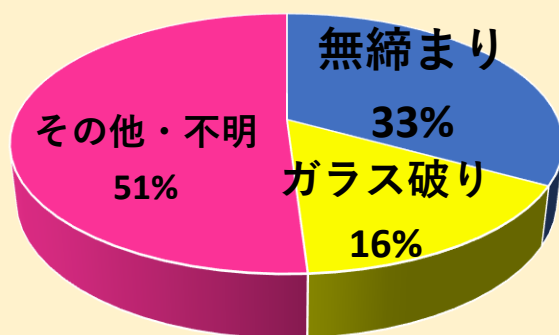
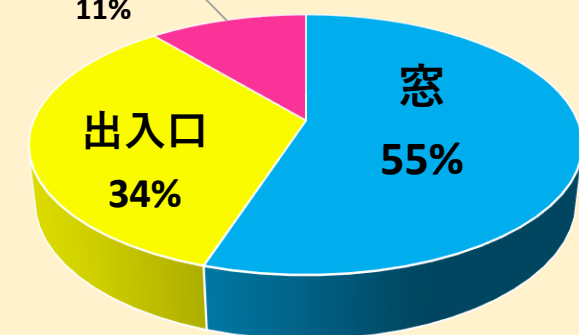
・夜間、家人などの就寝した頃を見計らって住宅内に侵入し、金品を盗む手口をいいます。

【居空き】

・家人などが昼食や食事をしていいる際に、住宅内に侵入して金品を盗む手口をいいます。

侵入口

侵入手口



◎傾向と対策◎

被害の半数以上となる55%が、窓から侵入されています。侵入手口を見ても、無締まり箇所からの侵入が33%、ガラス破りによる侵入が16%あります。

被害を防ぐには、

- ・確実に施錠をする
- ・窓に防犯フィルムを貼る
- ・補助錠を設置する

など、無締り箇所を無くし、窓や出入口への防犯対策をすることが有効です。



～ 泥棒対策のポイント ～

①泥棒は『人目につくこと』を嫌がる

泥棒は、人目に付き注目されることを嫌がります。

- ・防犯カメラを設置したり、挨拶をして声をかけることで、泥棒を地域に寄せつけないこともできます。
- ・敷地に高い塀や生垣がある場合、泥棒が身を隠す場所になってしまうこともあるので注意が必要です。

②泥棒は『光や音』を嫌がる

泥棒は、光や音で犯行を気付かれることを嫌がります。

- ・センサーライトを設置して、敷地に侵入してきた泥棒を照らしたり、大きな音を発する警報機を設置して泥棒の侵入を知らせることが被害防止には有効です。
- ・重要なのは、防犯機器で「泥棒の犯行を周囲に気付かせること」です。

③泥棒は『侵入に時間がかかる』を嫌がる

泥棒は、侵入に時間がかかることを嫌がります。

- ・警察庁の調べでは、「侵入に5分以上かかると約7割が犯行を諦める」とあり、侵入に時間をかけさせることが重要です。
- ・防犯性能の高い鍵や防犯フィルムが付けられた窓、補助錠が設置されたドアや窓などで侵入を防ぎましょう。

防犯には、これらの対策を組み合わせ、効果をより高めることが重要です。

警察庁のホームページでは、住宅防犯のチェックポイントや、防犯性能の高い建物部品等を確認できるページがあります。

右のQRコードから確認し、被害防止対策に御活用ください。

チェック



「住まいる防犯110番」URL: <https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki26/top.html>